

2026年6月15日

各 位

会 社 名 あさかわシステムズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 三宅 安幸
(コード：5249、TOKYO PRO Market)
問合せ先 総合管理部 部長 森 和幸
(TEL. 072-464-7831)

TOKYO PRO Market への上場目的の開示について

当社は、2026年4月3日付で株式会社東京証券取引所より発出された通知「TOKYO PRO Market への上場目的の開示のお願い」による要請に基づき、当社の TOKYO PRO Market への上場目的及びその実現状況の評価等について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. TOKYO PRO Market への上場目的

当社の TOKYO PRO Market への上場目的としては下記3点としておりました。

- ・日本全国における知名度や信用力の向上
- ・人材確保（新卒／キャリアの全国から優秀な人材の採用）
- ・M&A の積極的な推進

2. 上場目的の実現に向けた取り組み

上場時には、プレスリリースや各種メディアを通じて「東京証券取引所上場企業」であることを積極的に発信し、対外的なアナウンスを行いました。また、J-Adviser の指導のもとで構築した内部管理体制を運用し、取引先や金融機関に対して強固なガバナンスとコンプライアンス体制を証明する営業活動を展開しました。

求人票や採用ホームページにおいて「東証上場企業」であることを明記し、就職活動時のエントリー数を増やす施策を行いました。また、全国から優秀な人材を惹きつけるため、上場を機に整備した福利厚生や人事評価制度について、さらなる充実を図りました。

M&A 戦略を成長の柱と位置づけ、上場企業としての信用力を活かして、提携候補先企業との友好的な資本業務提携や事業承継案件の検討を進めました。自社の経営状況を透明化し、買収監査（デューデリジェンス）にもスムーズに対応できる体制を整えました。

3. 上場目的の実現状況の評価

新規の顧客開拓や金融機関との商談において、上場企業としての客観的な信用力がプラスに働き、契約締結までの期間短縮や取引規模の拡大を実現できました。地域社会や業界内での認知度も向上し、目的は順調に達成されつつあります。

社歴や規模に左右されず「上場企業」という客観的な安心感が加わったことで、特に新卒採用における学生および保護者からの信頼度が大幅に向上しました。結果として、エントリーの質・量ともに高まり、優秀な人材の確保に大きく貢献しています。

「上場企業であること」が M&A を検討する際の安心材料となり、M&A 仲介会社や金融機関からの優良な案件情報の提案数が増加しました。相手企業との交渉においても、コーポレートガバナンスが評価され、有利かつ円滑に M&A を推進できています。

4. 今後の方針

今後は、財務情報の適切な開示（ディスクローズ）を継続し、ステークホルダーとの信頼関係をさらに強固なものにし、企業価値のさらなる向上に努めます。

全国の求職者に対して当社の成長性やビジョンを直接アピールする取り組みを強化します。多様な人材が長期的に活躍し、キャリアアップできる環境を整備し、採用力をさらに強固なものとしします。

シナジー効果が見込める企業とのM&Aを積極的に実行し、事業拡大と企業グループ全体の価値向上を加速させます。M&A後の統合プロセス（PMI）にも注力し、グループとしての成長基盤を確固たるものにしていきます。

こうした取り組みを実行することで、3年後をめどに売上高30億円の達成を目指します。

なお、本資料に記載された内容は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社の今後について確約するものではありません。

以 上